



川本貴弘監督

10.16 映画「かば」と講演、無事終了① ～第2期教研集会全体会～

新型コロナウイルス感染症拡大ため、二度も延期した映画「かば」と講演（第2期教研全体会）は、10月16日黒崎ひびしんホールで無事に川本貴弘監督を招き開催することができました。上映後は監督を交え、パネルディスカッションも行いました。当日は雨でしたが、一般の方を含めて50名を超える参加がありました。参加者の感想です。



上映時間中、一分一秒たりとも、間なく考えさせられ続ける映画でした。しかし、その時間の全てで答えが出ませんでした。自分だったらどうするのか、どう答えるのか、何もわかりませんでした。10年後、20年後にもう一度観て、もう一度考えたい、そう感じました。(20代教員)

映画「かば」を拝見して教育の原点にかえった感じがしました。自分自身も「生徒のために」が教師を目指した理由であったことを思い出し胸が熱くなりました。(40代教員)

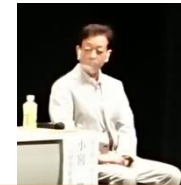


長行小の福田さん

具体的な細かいことを言うと、なんだかうそっぽくなるので一言。心の中があたたかく、そして明日からも先生がんばるぞ！と思える映画でした。見られてよかったです。がまんしたのに涙が出ました。ありがとうございました。(30代教員)



1985年という体験したことのない時代の様子を映画を通して見ることができ勉強になった。今と比べ、生徒の悩みも移り変わっているものもあれば、家庭問題など変わらないものもあり、生徒との接し方が限定されている昨今で関わり方を検討していく必要があると感じた。(20代大学生)



元中学校教員の
小宮さん



鳴水小の小川さん

26歳で採用された頃を思い出しました。映画ほどではないにしても大変だったなあ。子どもからのサインに気付かないままのこともあったかもと考えるとぞっとします。教師の責任の重さも改めて痛感しますが、子どもたちのエネルギーに感服します。子どもたちのおかげで楽しい人生だったといえます。子どもが成長するには周りにどれだけいい大人がいるか、いい大人に出会うかで決まると、先輩に言われたことが忘れられません。いい大人でありたいと思っていたけれど果たしてどうだろうか・・・。(70代元教員)

今回で3回目です。「生徒のことがわかるようになったら教師は終わりや」というセリフが心にささりました。それでもわかりたいと思っています。残り少ない教師生活ですが、最後まで向き合っていこうと思いました。(50代教員)

川本監督の気さくさにまず感激しました。私の好きなシーンの一つは、肉じゃがに、かくし味としてニンニクのすり下ろしを入れたお母さんを見る娘（裕子）の笑顔です。(60代教員)



NO.17につづく

わからないこと・困ったことがあったら...

何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合

〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL(093)953-0381

